

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA OSU
名古屋大須ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

<本年度会長方針>

大きな和を築こう

No.1181

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 鬼頭茂成 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 岡村隆徳 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org



第1388回例会

職業奉仕月間
・米山月間
平成24年
10月25日(木)
ワークショップ
於 名城大学名駅サテライト
出席計算数
55名中38名出席
出席率70・37%
前々回出席率85・45%
会員 63名



例年プログラム

★ハナハ披露 林 富徳さん

ピクチャー 福永 健一さん

ニコソックス

職業奉仕委員会の皆さんありがとうございました。

鬼頭 茂成 春日井和良
高木 政義 川畑 博敬
酒井 修 渡辺 観永
本日よろしくお願ひ致します。

丹下さん本日はご苦労様です。

今日は誕生日です。青木 靖高
先日のゴルフ楽しい思い出で！ 大原 敏正
堀江 英弥

会長挨拶

みなさんこんにちは。今日は職業奉仕委員会の例会です。会場の

手配、また例会の段取りなどとしていただいた、職業奉仕委員会の丹下委員長を始め委員会の皆様にお礼を申し上げます。



さて、米には「作況指数」というものがあります。これは、その年の10a(10a)当たりの平均収量に対する「10a(10a)当たりの収量」を比率で表したものです。この作況指数の元となるのは、水稻收穫量調査であります。調査は、各県で、田んぼを無作為に選び、その水田の3か所を対象に水稻の作柄を調査します。1m²当たりの株数、1株当たりの穂数、1穂当たりのもみ数を数えます。また過去のデータや、気象データ、水田の作柄、被害状況などから1000もみ当たりの収量を予測します。1000もみで何グラムになるかが予想収量です。現在では大体8〜10俵の収量が予想されます。

今年是全国平均1002でやや良とされています。勿論各県で違いは出ます。今年は大北高南低です。毎年この傾向は続いています。温暖化の関係でしょうか、東北、北海道が年々良くなってきます。最近で悪かった年は平成9年の74です。この年から米の状況が一変しました。皆さんも記憶のある輸

入米、タイ米ブレンド米です。これから輸入米が市民権を得ました。今年の予想収量は827万tです。年間消費量は700万tといわれていますので、今年度の収量からだけでも127万t余ることになります。備蓄米などが180万tありますが、これはこのままにしておいても輸入する米の量だけさらに余ることになります。来年の夏ごろにはこの余剰米の処理が議論になってくると思います。

1994年まで続いた食糧管理法の時代は、米は基本的に全量国の管理でした。ですから、余った米も国が買い入れていましたが、あまりにも食糧赤字が大きくなり、1995年から食糧法に変わり米の流通を民間にゆだねるようになりました。しかし、主食の米ですの国が様々な所で関与しています。

一番大きい関与が稲作への助成です。どんなルールでこのようにお金を出すか、というのが政治の手法です。農政がいろいろ



る考えても、天然物で収穫が天候に左右されるものですから、管理しようとしても上手くないませせん。米を主食として国が自給を守るのか、または、流通を民間に任せ、さらには農業法人を認めて、企業に生産も任せると、ということが政治の判断になると思います。次の内閣がどのような政策をとるかが注目です。

ワークショップ

1. スケジュール
12時40分 DVD上映

「真の『職業奉仕』がロータリーを救ったか」

13時00分 進行説明・議論スタート

13時15分 纏め

13時20分 発表(各チーム15分)

13時30分 終了

2. テーマ『職業倫理』

「職業において倫理に基づく決定を行うことはなぜ重要なのか。ロータリー・クラブでこのような決定を行うことはなぜ重要なのか」

ファシリテータ(進行役)

西鶴 智吾

Aグループ (司)照井 葉 (リ)丹下 富博
浅井 隆宣 伊藤 与則
酒井 修 川口 小折
春日井和良 青木 靖高

Bグループ

(司)前田 隆久

(リ)近藤 明美
(発)大原 俊博

浅野 彰 岩崎 征一
横井 衛 高木 政義

吉田 憲一 武藤恵美子
福永 健一 (奄美RC)



Cグループ

(司)田崎 雅二

(リ)小澤 幸男
(発)大原 敏正

鬼頭 茂成 堀江 英弥
松本 哲朗 神野 邦利

小野 定男 日比野智十男
林 富徳

Dグループ

(司)渡辺 観永

(リ)岡田 尚彦
(発)渡辺 観永

近藤宏一郎 吉田 明夫
川畑 博敬 佐藤 彰

山口 正孝 林 順治
白戸 泉

グループ

(司)司 会

(リ)リーダー
(発)発表者

メンバー (順不同・敬称略)

「職業奉仕」に関する

ワークショップを終えて
職業奉仕委員長 母下 高層

職業奉仕の理想を日常的に実践
するようクラブの参加を強調する
ため、毎年10月は「職業奉仕月間」
と定められています。今回は「職
業奉仕」についてグループディス
カッションを行うとともに、それ
ぞれの会員がどのように自身の職
業を通じて職業奉仕活動をしてい
るのかなどについて知る機会にも
なりました。

短い時間ではありましたが、
それぞれのグループのメンバーが
活発に意見を話し合うことができ
るかどうか少し心配してありまし
たが、ファシリテーターや各グルー

於名城大学を駅サテライト
中村区名駅3-26-8
名古屋駅前交通ビル13階

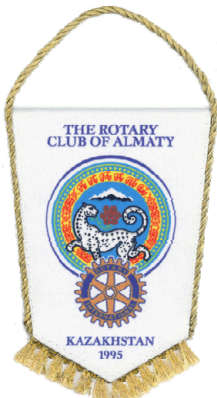


「やっぱり大須
ロータリーク
ラブは最高！」
と確信いたし
ました。

バナー披露

林 富徳

アルマトイRCンカザフスタン



国際ロータリー・ニュース

2012年10月18日

職業奉仕で若者へのキャリア支援を
セント・ジョセフ・ベントン・

ハーバー・ロータリー・クラブ(米
国ミシガン州)は、職業奉仕プロ
グラムの一環として、地元の高校
2年生と3年生に、それぞれが関
心を持つ業界で活躍する職業人と
接する機会を提供し、キャリア開
発支援を行っています。

これは、クラブが2008年に
始めたメンター・プログラムであ
り、普段見ることのできない様々
な職業の舞台裏を紹介することで、
職業的関心を高めることを目的と
しています。参加した学生たちは、
各業界で活躍する業界人から、夢
をつかむためのアドバイスを受け
ることが出来ます。参加学生の選
者は地元の学校が行います。

このプログラムには、これまで
300人以上の高校生が参加し、
弁護士、医者、フォーチュン50
0企業のCEO、放送ジャーナリ
スト、警察官、プロのフットボー
ル選手など、幅広い職業のメンタ
ーと交流しました。その場には2
人のロータリアンが同行し、プロ
グラム終了後、参加した高校生た
ちはクラブ例会で結果報告をする
ことが求められています。

クラブ会長でプログラム委員長
でもあるシャッキー・ヒューイさ
んは、このようなプログラムの実
施を通じて、学生のキャリア目標
や進路変更を支援していると話し
ます。(中略)

ヒューイさんによれば、このプ



プログラム
の成功が
きっかけ
となり、
2月に新
しいインターアクト・クラブ(セ
ント・ジョセフ・ベントン・ハー
バー・インターアクト・クラブ)
の結成に至ったとのこと。2週間
後には、会員数が60人まで増えま
した。また、ヒューイさんが20
12年RI国際大会でこのプログ
ラムについて紹介したことから、
スコットランド、ニューシラン
ド、インド、ペルー、日本でも同
じようなプログラムを始めようと
いう動きが高まっています。

★ 詳細は「国際ロータリー」
日本語HPをご確認ください。

11月8日(木)例会の案内

卓話

「里山と共生する」ルーフ場を目
指して―環境破壊の元凶か
ら保護のナイトヘー」
名城大学名誉教授
愛知県森林公園「ルーフ場取締役
松本 哲男さん

紹介者 鬼頭 茂成さん

広報委員会

近藤宏一郎・林 富徳
杉浦 令淑・青木 靖高

*本文は、原則 頂いた
原稿を転載しています。